

- 白岡市では、木材を利用した公園施設の老朽化に伴う維持管理への対応が課題となっている。
- このため、施設改修に当たり、新たな木材を使用することにより、公園環境の維持と安全確保に資する取組を実施。
- 白岡市では、森林環境譲与税を活用して、公共施設の木造化・木質化や、木製備品の調達等により木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組んでいる。

□ **事業内容 ～公園に設置しているパーゴラ及びベンチの木材利用～**

- ・市が管理する「せせらぎ公園」に設置しているパーゴラが経年劣化と腐食により破損しているため、木材を利用し改修した。

【事業費】 5,280千円（うち譲与税5,280千円）  
（譲与税は、木製パーゴラや木製ベンチの設置費用に係る部分に充当）

【実績】 公園内に設置しているパーゴラ及びベンチに木材を利用し、改修を行った。

- ・木製パーゴラ 1基 奥行3.2m 幅5.8m 高さ2.8m
- ・木製ベンチ 2基 奥行0.3m 幅1.9m 高さ0.4m



(木製パーゴラ)



(木製ベンチ)

□ **取組の背景**

- ・木材を使用した施設の経年劣化に対応するため、定期的な補修や改修が必要である。
- ・木材利用の促進や木育の機会を創出するため、公園利用者の手が触れる施設への木材利用を行っている。

□ **工夫・留意した点**

- ・木材の風合いを活かした塗装を用いることで、明るく、周辺施設との調和がとれる施設とした。
- ・国産材を採用することにより、品質の確保を図った。

□ **取組の効果**

- ・更新により、施設の長寿命化を図ることができた。

◇ **基礎データ**

①令和4年度譲与額：5,470千円	②私有林人工林面積（※1）：3ha
③林野率（※1）：0.9%	④人口（※2）：52,214人
	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より